

上部内視鏡検査説明書・同意書

【検査目的】 食道・胃・十二指腸を直接内視鏡で観察し、食道炎、胃・十二指腸潰瘍、食道癌、胃癌などの病気を見つけ、適切な治療を考えるために行います。この部位の検査としては、最も正確です。

【検査方法】現在、ほかの病気で治療薬を飲まれている方や麻酔薬にアレルギーのある方は問診票にご記入ください。薬の種類によっては、検査の方法が変更されます。

1. 胃の中を見やすくするための薬を服用します。
2. 検査を楽に受けられるように鼻と喉の麻酔をします。
3. ベットに横になった状態で、内視鏡を鼻から挿入し検査します。検査時間は、5～6分程度で終了します。

※病気が発見されれば延長する場合があります。

4. 病気の内容により良性、悪性の判断のために3～4mmの組織を採取(生検)したり、色素液を散布して詳しい写真を撮る場合があります。
5. ピロリ菌感染が疑われる場合は、検査が必要となります。
6. 生検およびピロリ菌検査をした場合は、別途追加料金、4000円程度がかかります。
7. 検査終了後、1～2時間程度で飲食可能となりますが、組織を採った方は、当日は刺激物、アルコールは禁止です。

生検・病理検査に (同意する ・ 同意しない)
ピロリ菌感染が疑われる場合、ピロリ菌検査を (同意する ・ 同意しない)

【合併症】

安全な検査ですが、0.007% (10万人に7人) に以下のような合併症の報告があります。

1. 出血(生検した場所や潰瘍から)0.0015% (100万人に15人)
2. 穿孔(胃や腸に穴が開くこと)0.0018% (100万人に18人)
3. 検査中の死亡0.00045% (1000万人に45人)
4. 検査に使う薬(麻酔薬、鎮静剤、鎮痙剤)によるショックなど0.0014% (100万人に14人)
5. 薬剤散布後の胸焼け、アレルギー、甲状腺異常
6. 検査前よりあった基礎疾患の悪化
7. 歯牙損傷の危険性

合併症出現時は、最善の手技を尽くして行いますが、上記の発生を完全に予防する事はできません。

また、上記のうち出血や穿孔などは輸血、開腹手術などによる治療が必要となる場合もあります。

上部内視鏡検査の同意書

私は、上部消化管内視鏡検査に関してその必要性和合併症の説明を受け理解しました。
私は内視鏡検査を受けることに同意します。

令和 年 月 日 ご本人署名

家族または代理の方のご署名 (続柄)

医療法人社団新内科医院 新しくにつく
院長 新 浩一